

人のぬくもりと
ふれあいが奏でる躍動のまち
丹波高原文化の郷●京丹波

広報京丹波

KYOTAMBA

NO.65
3月号

2011年3月15日発行

笑顔がはぐくむ
学年を超えた
友情ときずな



瑞穂地区の新たな保育拠点

「みずほ保育所」が完成

4月の開所に向けて工事を進めてきた「みずほ保育所」が完成し、2月25日に竣工式を開催。瑞穂地区の保育拠点となる新たな施設の概要をお知らせします。



めくもりとやさしさを醸し出すよう木目調を基本に、自然光が取り入れやすい構造、ゆったりと開放感のある配置としています。



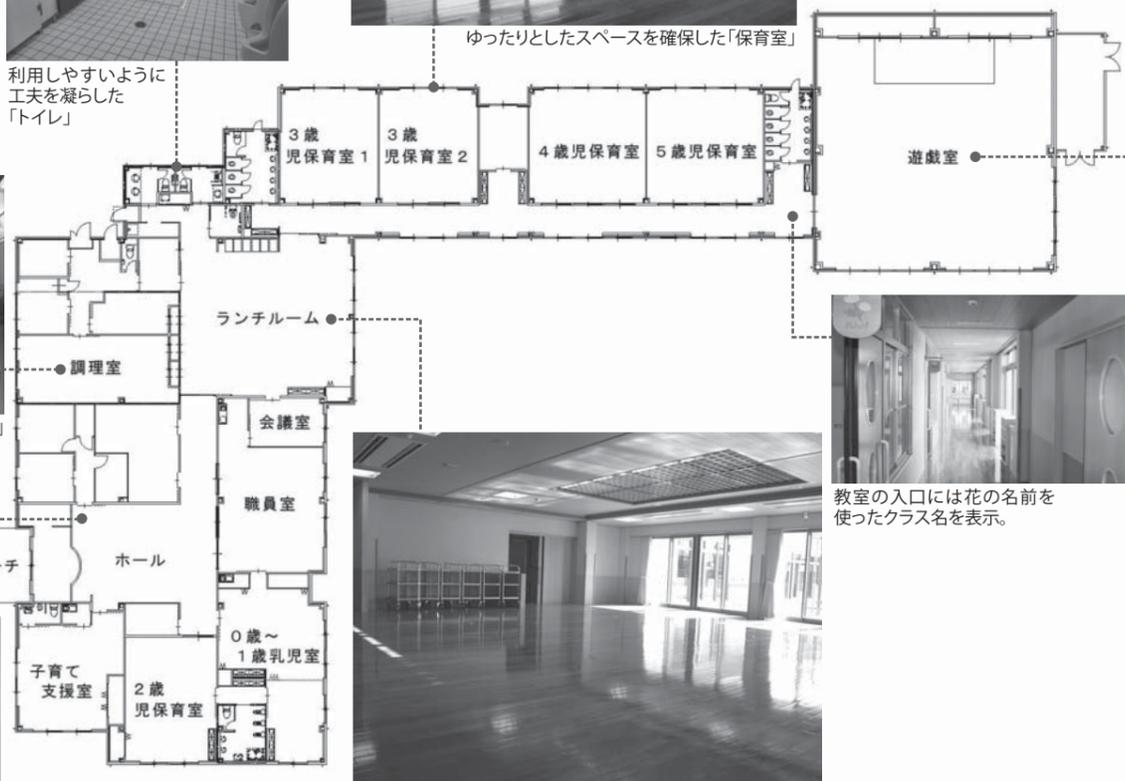
ゆったりとしたスペースを確保した「保育室」



利用しやすいように工夫を凝らした「トイレ」



最新の機材を備えた「調理室」



教室の入口には花の名前を使ったクラス名を表示。



発表会などで利用できる大きな舞台を備えた「遊戯室」



園児たちが集まりやすいよう施設の中央部に設置した多目的に使える「ランチルーム」



玄関ホールに設置した施設内の「案内板」



「竣工式」と「施設見学会」を開催

二月二十五日、松山保育所保護者会役員をはじめ、地域住民や学校・町関係者ら約七十人が出席する中、保育所完成を祝う「竣工式」を開催しました。式典では、テープカットでオープニングを飾った後、寺尾豊爾町長が「すこやかに育つ子どもたちを預かる施設として、開所後は質の高い保育行政を推進していきます」と式辞。続いて、事業の経過報告や来賓祝辞、万歳三唱が行われ、出席者らは待ちに待った保育所の完成を盛大に祝い、四月の開所に向けて決意を新たにしていました。

また、午後からは「施設見学会」を実施し、地域のみなさんに完成した保育所内を広く公開しました。



完成を記念しテープカットを行う寺尾町長ら関係者（みずほ保育所・和田）



今月の表紙

2月8日、丹波ひかり小学校で行われた「ふれあい教室」。在校生たちは、新入学予定児童を連れて校舎内を案内したり、絵本を読み聞かせたりして、新しく迎える後輩たちと交流を深めていました。（関連記事を12ページに掲載）

No.65 CONTENTS

- 2 瑞穂地区の新たな保育拠点「みずほ保育所」が完成
- 4 農業の活性化と地域の発展を目指す農用地総合整備事業が完工
- 6 学校給食検討委員会が提言「すべての町立中学校で学校給食の実施を」
- 7 暮らしのガイド
—ケーブルテレビの運用を開始します
- 8 安定した医療の体制づくりを目指して町立医療機関の運営体制を一本化します
- 9 Dr's Message いきいき健康術
- 10 FLASH KYOTAMBA TOWN NEWS 2011

■みずほ保育所の概要

- 場 所 京丹波町和田大下42番地1
- 敷地面積 5,398.28㎡ (延床面積 1,169.54㎡)
- 建築工法 鉄骨造平屋建
- 定 員 100人
- 工 期 平成22年4月27日～平成23年1月31日
- 事業費 5億2,440万円
- 整備内容 保育室(6室)、子育て支援室、職員室、調理室、遊戯室、ランチルーム、運動場など



完成を記念して建てられた案内看板(府道篠山京丹波線交差点付近、高岡地内)



開通パレードに出発する車両(丹波瑞穂線3工区・高岡地内)

農業の活性化と地域の発展を目指す 農用地総合 整備事業が完工

活力ある農業地域を目指すための基盤整備として、独立行政法人 森林総合研究所 森林農地整備センター(以下「森林総合研究所」)が主体となり、本町と南丹市で取り組んできた「南丹区域農用地総合整備事業」。このほど、区画整理や暗きよ排水工事、農業用道路整備など、十二年間にわたる事業が完成し、完工式が盛大に行われました。

開通式パレードと 総合完工式を開催

二月二日、地元住民や行政関係者らが出席する中、丹波瑞穂線の全線開通を祝うパレード出発式が高岡地内で開催されました。出発式では、寺尾豊爾町長が「農業を取り巻く状況は大変厳しいが、事業完成を契機に、大都市近郊の農業地帯という有利な立地条件を生かして人や物の交流が一層盛んになることを期待するとともに、整備されたほ場や道路を貴重な財産として活用し地域の発展につなげていきたい」とあいさつ。続いて、テープカットやくす玉開披で道路の開通を盛大に祝った後、関係者らによる車両パレードが行われました。

その後、農用地総合整備事業の完工式が南丹市国際交流会館で開催され、本町と南丹市の関係者ら約百七十人が出席。式では、森林総合研究所の町田治之所長が「整備された農業生産基盤を活用し、安全・安心な食糧の供給地として発展されるとともに、都市農村交流の推進や地域住民の生活利便性の向上など、事業の成果が多方面に生かされることを期待します」と式辞を述べた後、十二年をかけた事業の経過報告や来賓祝辞などが行われ、出席者らは事業完成を祝うとともに、南丹地域の発展に向けて決意を新たにしました。

事業の概要

中山間地に農地が点在する本町と南丹市では、農地の区画が狭小で排水条件が悪かったことや、道路が狭く農業用資材の搬入および農産物の出荷に遠回りをしていたことから、生産条件の改善を図るため、森林総合研究所が主体となつて「農業用総合整備事業」による基盤整備を行ってきました。

全体事業としては、工期が平成十一年度―十二年度、総事業費が二百六十四億円、事業内容が農用地整備一七二鈔(区画整理三七鈔、暗きよ排水一三五鈔)と農業用道路二二キロを整備。事業効果としては、作業効率がよい農地整備による高生産性農業の確立と、利用しやすい農道整備による農畜産物の流通の合理化などにより、農業生産基盤の充実が図られました。なお、本町における事業内容は下記のとおり。

【区画整理】

竹野団地 29.3ヘクタール
鎌谷中団地 7.8ヘクタール

【暗きよ排水】

丹波地区 10.0ヘクタール
瑞穂地区 3.8ヘクタール
和知地区 35.5ヘクタール

【農業用道路】

丹波瑞穂線(第1-3工区)
総延長 7,635m / 幅員 7m
●1工区 2,121m
●2工区 2,157m
* 橋梁(11m)含む
●3工区 3,357m
* トンネル(540m)含む



丹波瑞穂線の2工区で整備された安井から小野へ抜ける峠(安井地内)



丹波瑞穂線の3工区内に整備された「穂垂トンネル」(安井・高岡地内)



生産基盤の向上を目指して区画整理されたほ場(辻村地内)



丹波瑞穂線の2工区内で曽根川に架けられた「中山橋」(安井地内)



自主放送番組では
告知端末機の操作方法などを
お知らせしています

告知端末機の運用方法



行政情報などのお知らせ放送(定時放送)

放送日時：毎日、朝と夜の2回
〈朝〉午前6時30分～ 〈夜〉午後7時30分～
*火災や災害時などの緊急放送も告知端末機を使って行
います。
*お悔やみ放送は随時受付し、原則午後7時30分に放送し
ます。ただし、当日放送分の受付は午後3時までとなります。

加入者間有線電話の使用法

町内でケーブルテレビ加入者同士が通話される場合、**NTT番号の先頭に「3」**をつければ通話ができます。(電話
機の接続が必要)

(例) 役場 82-0200
⇒NTT回線を使用するため通話料が必要
" **3** -82-0200
⇒ケーブルテレビ回線のため通話料が不要
*個人情報保護の観点から、独自の電話番号帳は作成しま
せん。

問い合わせ／京丹波町情報センター
〈NTT〉☎88-5000
〈CATV〉☎3-88-5000

ケーブルテレビの 運用を 開始します

情報基盤の統一を目指して拡張整備を進めてきた
ケーブルテレビの運用を4月1日から開始します。
なお、運用開始後の取り扱い方法などは下記のと
おりです。

4月分から基本利用料を徴収します

試験期間中は利用料を徴収していませんでしたが、4月か
らは月額2,000円が必要となります。利用料は翌月請求とな
り、**4月分は5月末**に引き落とさせていただきますので、登録
いただいた口座の確認をお願いします。(口座登録のない場
合、納付書を送付します)

なお、**3か月以上未納期間が続いた場合や加入分担金
が未納の場合、利用停止の対象となりますのでご注意く
ださい。**

- *インターネット利用の場合、別途2,000円が必要です。(合
計4,000円)
- *基本利用料は、ONUの設置が完了していると必要になり
ます。長期不在や宅内工事が未完了の場合は休止届を
提出してください。

自主放送番組の視聴方法

運用開始後は、自主放送番組をデジタル放送とアナログ放
送の両方で放映します。

- デジタル放送 11ch
- アナログ放送 5ch

- *デジタル放送の視聴には、チャンネルの設定が必要です。
- *気象情報(2ch)は再構築が完了するまでアナログ放送の
み放映します。

学校給食検討委員会が提言

「すべての町立中学校で 学校給食の実施を」



京丹波町学校給食検討委員会(岩崎正子委員長、委員14人)が2月8日、課題となっている「中学校における学校給食のあり方」および「今後の学校給食のあり方」について寺尾豊爾町長に提言。寺尾町長は、「保護者のみなさんなどと協議し、提言内容を生かした学校給食に向けて取り組んでまいります」と話しました。

今後、町は関係機関と連携し、より良い学校給食に向けて検討を重ねていきます。

中学校給食について

検討委員会は、昨年十月十二日の
初会合を皮切りに計五回の会議を
開催し、課題となっている中学校給
食などについて総合的な見地から検
討を重ね、次の四点を柱に提言書を
まとめました。

提言 心身の発達に必要なバラ
ンスのとれた栄養摂取や望ましい食習
慣の定着を図るため、全中学校にお
ける学校給食を早急に実施されたい。

意見 未実施である蒲生野中と瑞
穂中の保護者の多くは食育および栄
養改善の観点から給食を希望して
おり、学校も給食が心身ともに健康な
生徒の育成につながると思っている。和
知中を参考に、施設や学校運営の状
況などを考慮し早急に実施すべき。

調理施設について

提言 新しくセンター方式の調理
施設を建設し、三給食センターで分
担調理する。分担方法は、新給食セン
ターで全中学校分を調理する形態
(形態1)、未実施中学校と瑞穂小学
校分を調理する形態(形態2)のい
れかが適切である。(表1)参照

意見 全校給食実施に向けた施設
建設は、既存給食センターとの連携や
効率的な施設運営の点からセンター
方式が望ましい。建設場所は、配送が
できる限り短時間という条件のもと、
町有地の有効活用も考えられる。

給食センターの調理形態(表1)

	形態1			形態2		
	構成	メリット	デメリット	構成	メリット	デメリット
和知センター	和知小、下山小	新施設が 中学校専用 となり、中 学生に合 った給食 が提供可 能。	新施設選 定が難し い。配送 車が多く 必要とな る。	和知小、和知中	和知・丹 波センター は従前の 体制で活 用できる。	新施設設 の規模が 若干大き くなる。
丹波センター	竹野小、瑞穂小、 丹波ひかり小			竹野小、下山小、 丹波ひかり小		
新設センター	和知中、瑞穂中、 蒲生野中			瑞穂小、瑞穂中、 蒲生野中		

※現状と変更した部分は _____ で明記しています。

ランチルームについて

提言 中学校における給食を食べ
る場所については、衛生的で安全な
給食の提供や食事時間確保のため、
配膳室の設置と配膳員などの人的
配置が不可欠であるとともに、ラン
チルームの設置を研究されたい。

意見 安全かつスムーズな配膳を
行うため、配送車を受け入れるプ

食育の推進について

ラットフォームを備えた配膳室の設
置、給食の学級ごとの仕分けや返却
作業を行う配膳員の配置が不可欠
である。

ランチルームは、設置を望む意見
とともに、全生徒が集まることによ
る指導上の課題や大規模な施設建
設への財政負担があることから、慎
重に研究を重ねる必要がある。

提言 食育を推進するため、地域
食材の積極的な活用や食物アレル
ギー対策を実施する必要がある。

意見 地域の特徴を生かした学校
給食の一環として、地元食材給食の
提供などを一層推進する必要がある
。また、食物アレルギーの子どもに
安全で安心な給食を提供するため、
施設整備や人員の確保に努めるべ
き。



寺尾町長に提言書を手渡す岩崎委員長(役場町長室・蒲生)

安定した医療の体制づくりを目指して 町立医療機関の運営体制を 一本化します

町民のみなさんが安心して健やかに生活できる医療の体制を構築するため、町医療等審議会の答申内容に基づき、4月1日から京丹波町病院を核として質美診療所、和知診療所、和知歯科診療所の4医療施設の運営体制を一本化します。現体制の課題などを交えて、一本化に伴う変更点をお知らせします。



現体制における課題

▼医師不足

本町では、医療機関ごとに府立医科大学から医師などを派遣いただき診療を行っていますが、全国的な医師不足の影響から、十分な体制が組みなくなっています。そのため、本町のように医療機関を多く運営する自治体では、応援体制を整備するなどして連携を強化し、効率良い運営基盤づくりに努める必要があります。

▼施設名称

京丹波町病院は現行のままで、ほかの医療機関の名称を次のとおり変更します。

【変更後(新名称)】

- 国保京丹波町病院質美診療所
- 国保京丹波町病院和知診療所
- 国保京丹波町病院和知歯科診療所

▼会計運営

京丹波町病院事業の中で医療機関ごとに会計処理を行い、全体的に予算や決算の管理を行います。このことにより医療機関ごとの比較ができることにも、今まで取り組んできた共同購入以上に会計全体で経費削減に向けた対策などを講じることができそうです。

▼組織体制および関係機関との連携

現在の組織体制では、京丹波町病院から和知診療所に医師を派遣するにも一定の制約があり、柔軟な対応が困難な状況です。町としての考え方や取り組み方針を反映しやすく、医師派遣や関係機関との調整を一括して行うには、運営体制を一本化する必要があります。

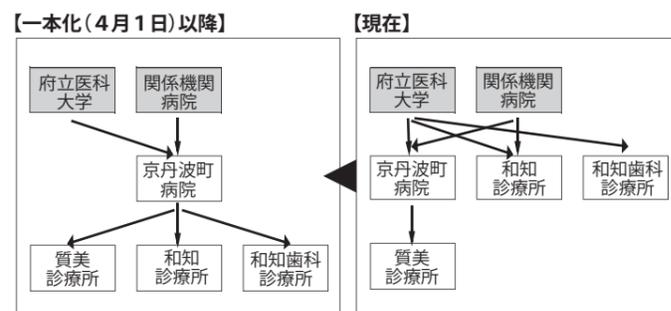
一本化に伴う変更点

課題解決に向けて京丹波町病院を核に運営を一本化することで、施設名称などが次のとおり変更となります。

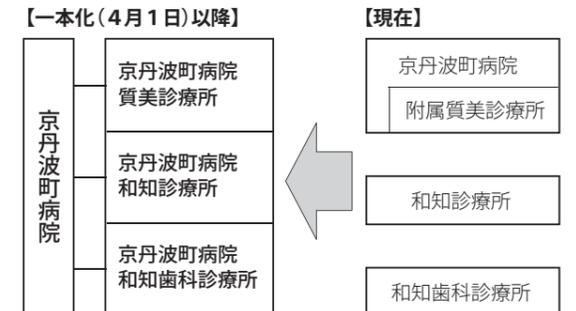
また、現在、京丹波町病院と質美診療所は公営企業法による病院事業会計、和知診療所と和知歯科診療所は特別会計で運営していますが、一本化により病院事業会計に統一することで、医療機関全体の経営状態を分かりやすくし、経営の効率化につなげることができそうです。

なお、介護老人保健施設は和知診療所二階で従来どおり運営し、特別会計で処理します。

医師派遣などのイメージ



運営一本化のイメージ



『ドライマウスケア』

このコーナーは、町立病院・診療所の医師や専門職員がみなさんにお届けする健康情報コーナーです。今回の担当は和知歯科診療所の舟木健先生。近年増加傾向にあるドライマウスの症状や対処方法についてのお話です。

最

近頃、口の渇きを訴える患者さんが増えてきています。

今回のテーマ「ドライマウス」とは、唾液量の低下による口の乾燥感のことです。唾液は口の中を潤すだけでなく、抗菌作用もあるため、低下すると口の防御機能が下がり、口臭、むし歯、粘膜の炎症など、さまざまな問題が起これると考えられます。

原因と対処方法

ドライマウスの原因は、加齢によるものや鼻づまりによる口呼吸、薬の副作用などが主で、そのほかに自己免疫疾患といわれる病気や口腔内のがんに対する放射線治療の影響などがあります。このように、ほとんどが全身的な問題が関わっていることから未然に防ぐのは非常に困難ですが、放置すれば口の環境は悪化する一方なので何らかの対策が必要です。

それでは、実際に歯科で行っている対処方法をいくつか紹介します。

【主な対処方法】

- 歯科専用のガムをかんでもらう。唾液の分泌を促す。



舟木 健先生(和知歯科診療所)

- 唾液の出る腺(唾液腺)のマッサージを行って分泌を促す。
- 口の中を潤す専用のジェルを塗る。
- 保湿効果のある液体を定期的に口に含んでもらう。
- 唾液の分泌を促進する飲み薬をのんでもらう。

このほか、鼻づまりや全身的な疾患が原因と考えられる場合は、内科や耳鼻科の医師に紹介することがあります。

少し口が渇く、口臭が気になるなどの症状があれば、一度かかりつけの歯科医に相談してください。

国保京丹波町和知歯科診療所は平成二十三年四月から国保京丹波町病院和知歯科診療所となります。よろしくお願ひします。



いきいき健康術 第43回



模型を使って筋肉の役割などを説明する大田さん
(町中央公民館・蒲生)

「花」「木」「鳥」の制定について調査研究することを目的に、各種団体や一般公募の委員ら九人で組織。会議では、寺尾豊爾町長が委員に委嘱状を交付した後、正副委員長を選出し、制定に向けたスケジュールや方法について話し合いました。

町のシンボル「花」「木」「鳥」の制定を目指して

■シンボル制定委員会が発足

京丹波町シンボル制定委員会が二月二十五日に発足し、役場議場で初会合を開催しました。同委員会は、町のシンボルとなる「花」「木」「鳥」の制定について調査研究することを目的に、各種団体や一般公募の委員ら九人で組織。会議では、寺尾豊爾町長が委員に委嘱状を交付した後、正副委員長を選出し、制定に向けたスケジュールや方法について話し合いました。



シンボル制定に向けて話し合う委員
(役場議場・蒲生)

シンボル制定は十月を目途に計画しており、今後募集などを行います。

行政主導ではなく住民主体の地域づくりを

■地域づくり講演会

地域づくり講演会(京都府・京丹波町北部振興会主催)が二月十二日、和知ふれあいセンターで行われ、同振興会員ら約百人が参加しました。

講演会は、行政に頼りすぎない村おこしを目指し、独自商品の開発(竹の額縁、さといも焼酎など)や青少年の学ぶ寺小屋開設など、住民が主体となった先進的な地域づくりを実践する鹿児島県鹿屋市申良町の柳谷集落、通称「や

ねだん」で中心となって活動する豊重哲郎さんを講師に招き、「やる気を起こせば必ず奇跡は起こる!」をテーマに開催。豊重さんは、同集落の公民館長としてさまざまなアイデアを提案し、地域の人々を先導してきた経験談を交え「リーダーは天狗になってはいけないし、何事も説得から入るのではなく、目配りと気配りに心がけ、わかりやすくしていねいに伝えたい」といいます。何気ない一言で人々は離れていくので、日ごろから気をつけることが大切です」と、



地域づくりを実践する中で感じたことなどを話す豊重さん
(和知ふれあいセンター・本庄)

地域づくりにおけるリーダーの役割を話しました。

無理がない運動で転倒や寝たきりの予防を

■健康講座

健康講座の第一講座が二月八日、町中央公民館で行われ、約四十人が参加しました。

講座は、町民のみなさんが心も体も健康に過ごしてもらうことを目的に、テーマを分けて二回シリーズで開催。今回は「体」をテーマに、和知診療所の理学療法士・大田有次さんが「転倒予防で寝たきり予防」をテーマに「転倒予防で寝たきり予防」と題して、転倒する原因や予防方法をはじめ、日ごろから取り組める転倒しないための体操方法など実演を交えて説明した後、「体の動きを限定するのではなく、体全体を無理がない範囲で動かし、筋力を低下させないことが転倒や寝たきりの予防につながる。ただし、何も運動しないのもいけないが、がんばりすぎると体を痛めてしまうので、体をいたわりながら長く続けるようにしてください」と、無理がない程度の運動の大切さを話しました。

人口・世帯数共に減少が進む

■国勢調査の人口速報値を公表

平成二十二年十月一日現在で行われた「平成二十二年国勢調査」について、人口速報値の集計ができましたのでお知らせします。

今回の速報値は、人口および世帯数を取りまとめた市区町村要計表を用いて町が集計したものです。結果は、人口が一万五千七百三十六人で前回(平成十七年)と比べて千五百五十七人の減、世帯数が五千六百六十一人で六十三人の減となりました。

なお、地区別の集計結果は次のとおりで、詳細については総務省が確定値を公表された後にお知らせします。

世帯数	平成22年			平成17年			増減					
	京丹波町	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	京丹波町	丹波地区		瑞穂地区	和知地区			
	5,661	2,789	1,618	1,254	5,724	2,750	1,654	1,320	△63	39	△36	△66
人口	平成22年			平成17年			増減					
	京丹波町	丹波地区	瑞穂地区	和知地区	京丹波町	丹波地区		瑞穂地区	和知地区			
	15,736	7,803	4,564	3,369	16,893	8,280	4,947	3,666	△1,157	△477	△383	△297

※総務省が公表する人口速報値とは相違がある場合があります。

大切なのは判断能力を高めるためのサポート

■スポーツ講演会

生涯スポーツ講演会(町体育協会主催)が二月六日、町中央公民館で行われ、同協会員や生涯スポーツ推進委員ら約六十人が参加しました。

講演会は、同協会設立五周年記念事業の一環として、京都サンガFCのゼネラルマネージャー・祖母井秀隆さんを講師に招き、「サッカーを通じた青少年の育成」日本とヨーロッパの指導法から「をテーマに実施。祖母井さんは日本代表監督イビチャ・オシム氏の指導方法を例に挙げ、「オシム監督は言葉で指示するのではなく、自分自身が率先して動くことで選手を誘導してきた。日本の指導方法は管理しすぎて指示待ちになりやすいので、選手や子どもたちが自分自身で考えて判断できるよう、指導者はサポート的な役割に心がけてください」とアドバイスを送りました。

また、講演に先立ち、スポーツ交流大会地域対抗の部総合表彰式が行われ、今年度のスポーツ大会(フェスティバルなど)で好成績を収めた集落などに表彰状が贈られました。

京丹波町ケーブルテレビが審査委員特別賞を受賞

■全国有線放送番組コンクール

このほど、全国有線テレビ協議会が主催する自主放送番組コンクールの農業生産経営部門で、京丹波町ケーブルテレビの農業情報特別番組「野菜作りが一番の生きがい」が審査委員特別賞を受賞しました。

受賞した番組は、伏見甘長とうがらし生産農家の北村清さん(質美)を密着取材し、家族へのインタビューを交えて栽培にまつわる苦労話や収穫の喜びなどを紹介したもの。ナレーションを地元の谷文絵さん(質美)や北村さんのお孫さんが務め、地域のみなさんと一緒に作り上げた親しみやすい内容となっています。

受賞を励みにさらに充実した番組作りに努めていきますので、今後とも取材やインタビューへのご協力をお願いします。



受賞した番組の一場面

受賞は次のとおり。(敬称略)

- 一位 竹野口(西階、水戸)
- 二位 実勢区
- 三位 口八田(笹尾、辻村、中畑)
- 四位 下山区
- 五位 上高岡(鎌倉、下村、中村)
- 六位 蒲生野区



選手や指導者としての経験を交えて講演する祖母井さん
(町中央公民館・蒲生)

わたしたちの町	
人口	16,598(-32)
男	7,835(-20)
女	8,763(-12)
世帯数	6,439(-9)
3月1日現在/()は前月比	

美

美しいメロディーに
酔いしれる観客

■バレンタインコンサート

京丹波吹奏楽団が二月十三日、町中央公民館でバレンタインコンサートを開催。コンサートでは、音楽を通じたつながりをテーマに「イン・ザ・ムード」「聖者の行進」「ハナミズキ」「また君に恋してる」など十一曲を演奏し、観客約百七十人を魅了しました。

同楽団は「なみすい」の愛称で親しまれ、地域のイベントや演奏



美しい音色を会場に響かせる京丹波吹奏楽団
(町中央公民館・蒲生)

会などに積極的に出演。今年度は新入団員四人を加え、姉妹都市のオーストラリア・ホークスベリー市で初の海外公演を実現するなど、活動の幅を広げられています。

学

校間を越えた取り組みで「命」の大切さを学ぶ

■パートナーズスクール事業

二月十日、食をテーマに和知小と須知高、京都大が連携する「パートナーズスクール事業」の三回目(最終)の取り組みが和知小学校で行われました。

今回は、和知小学校研究発表会の公開授業(五年生)の一環として行われ、町内の学校関係者らと交えて講義や体験実習などを実施。講義では、京都大の院生が「牛乳のひみつ」と題し、牛乳ができるまでの過程をはじめ、乳脂肪分からはバター、生乳からはヨーグルト

やチーズができることなどをわかりやすく説明しました。

続いて、須知高の生徒が生クリームを使つてのバターづくりを指導。児童らは、びんに入った生クリームが固形物(バター)になるまで振り続け、出来上がるとパンに塗って試食し、味の違いを確かめていました。

また、授業が終わると、事業全体を通じた全体会が行われ、児童代表の四人が「大学生や高校生と一緒に学ぶことができ、よい経験になった」「人が生きていくのには

入

学前の児童と在校生がふれあう場

■ふれあい教室

丹波ひかり小学校が二月八日、四月からの新入学予定児童を対象とした「ふれあい教室」を行いました。同教室は、在校生と新入学予定児童が合同学習や体験などを通じて交流することで、新入学予定児童は夢や期待をふくらませ、在校生は温かく迎える気持ちを高める場として実施。新入学予定児童は、はじめに一年生との合同学習で工作体験に参加し、作り方を



生クリームが入ったびんを振ってバターを作る児童ら
(和知小学校・本庄)

くさんの命が必要だということがわかり、命を大切にしなければいけないと思った」などと感想を発表した後、パネルトークで関係者らが成果などを話し合いました。

編集後記

今年の冬は寒さが厳しく、雪が降り続いて積もることが多かったため、1日に何回も同じ場所を雪かきして筋肉痛になったり、滑ってけがをするなど、辛い思いをした記憶が残っています。そんなことは忘れて新しい季節を迎えたいと思いますが、春になると編集子には花粉症という悩みの種が…。花粉症対策として取材のときにマスクを着用しているかも知れませんが、ご理解をお願いします。(K)



1年生に教わりながらびよんびよんがえるを作る
新入学予定児童(丹波ひかり小学校・須知)

教わりながら牛乳パックでびよんびよんがえるを作つて楽しく遊んでいました。

その後、五年生の案内で職員室や保健室など校舎内を順番に見学しながら、マツト遊びをはじめ、折り紙遊びや鈴を使つたりリズム遊び、本の読み聞かせなどを一緒に行い、新入学予定児童との交流を深めていました。